

# JOC中学ハンド

中学ハンドボールの全国大会、第25回JOCジュニアオリンピックカップは26日、浦添市民体育館で男女の準決勝まで行い、開催地

# 浦添選抜 決勝逃す

準決勝の福岡戦は最後の最後まで大接戦だった。11-11で臨んだ後半最終盤に逆転を許した後、挽回を狙ったが無情にも終了の笛が鳴り響き、浦添市選抜の戦いが終わった。自らのミスを悔やんでうなだれる選手らに、長嶺重信監督は「良くやったんだ。泣くな」と、熱い言葉でねぎらった。

【男子】  
 △決勝トーナメント1回戦  
 浦添市選抜 20-19 香川  
 △同準決勝  
 福岡 24(13)11(12)21(23) 浦添市選抜  
 【女子】  
 △エキシビジョンマッチ(予選リーグ2位トーナメント)1回戦  
 浦添市選抜 14-9 福岡  
 △同準決勝  
 茨城 19(7)15(12)14(14) 浦添市選抜

# 最終盤に逆転許す

## 焦点

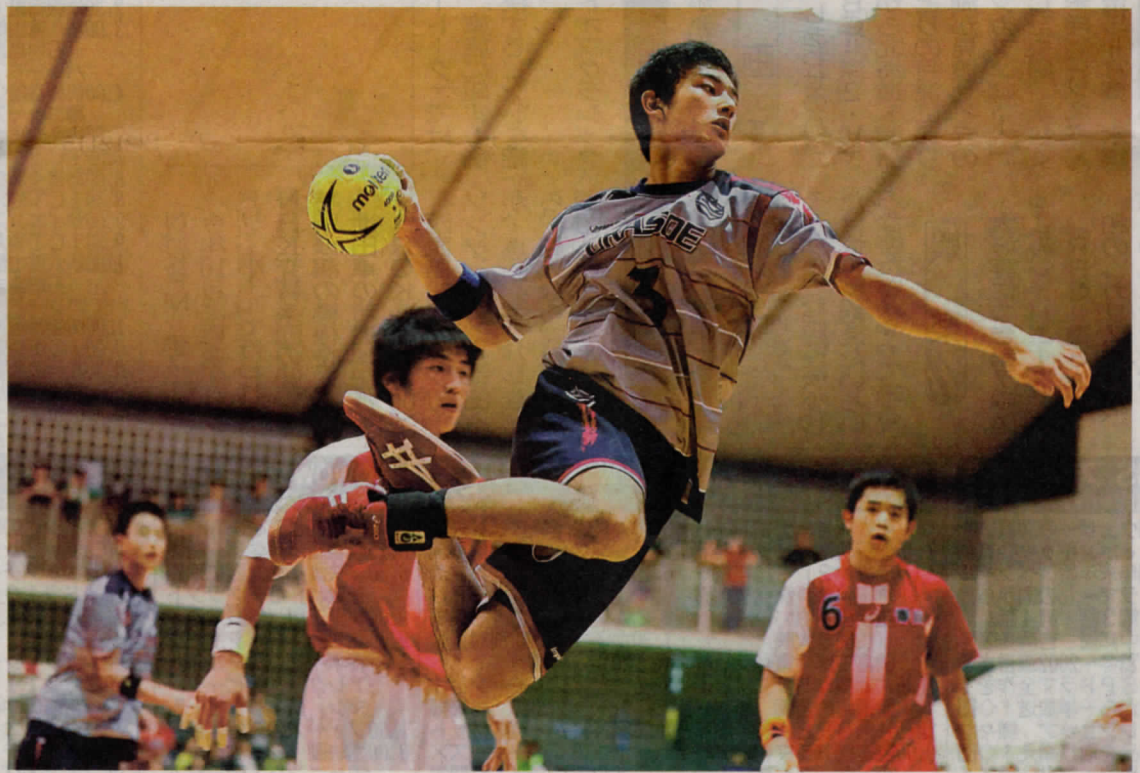
勝負どころの後半。浦添は知念征吾らが福岡のポストへのカバーを早め、伊禮らが両サイドへけん制を強めて相手の得点源を抑える。しかし、福岡も浦添のエース3人への対応速度を上げた。

22-22の場面で浦添のシュートが外れ、逆に相手の個人技で逆転を許す。焦る浦添は攻撃でパスカットされた後、福岡のエースとポストの連係攻撃でさらに失点。残り1分で猛攻を仕掛けるも、うまく時間を使われて逃げ切られた。

伊禮は主将としての責任感から「速攻もうまくつなげず、決めるべき時に決められなかった」と悔やんだ。しかし、決定的な敗因がないほど互角の勝負だった。個々の選手の力は随所で際立っていた。既に進学先を決めているメンバーもいる。伊禮や西原は「良い部分も悪い部分も修正し、高校でも自分のプレーで活躍したい」と、悔しきの中で言葉を絞り出した。(嘉陽拓也)



福岡-浦添市選抜 後半、速い連係からシュートを決める伊禮雅太=26日午後、浦添市民体育館 (大城直也撮影)



香川-浦添選抜 後半、速い攻撃で守備をかわし強烈なシュートを決める田仲康太郎